

融通念佛宗
総本山 大念佛寺

銅板瓦の御寄進を募っています

「瓦勸進のお願い」

大阪府下最大の木造建築物に
あなたの名前を
残しませんか



銅板瓦へ「名前」を記入させて頂きます

令和の

本堂大改修

令和6年完成予定

元祖聖應大師 良忍上人

900回御遠忌大法要

令和13年5月1日～5月7日

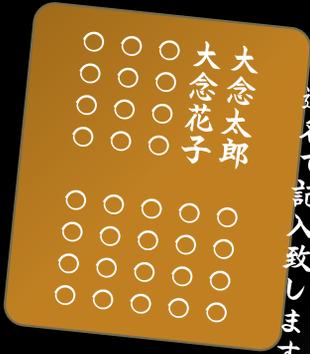
銅板瓦ご寄進について

大念佛寺大屋根葺き替え改修のための銅板瓦ご寄進のお願い

ご寄進料 1口5,000円

(寄進者のお名前を芳名帳へ記帳させていただきます)

- 10,000円(2口) 銅板瓦(1枚につき連名列記)に名前記入
- 30,000円(6口) 銅板瓦(1枚につき2名列記)に名前記入
- 50,000円(10口) 銅板瓦1枚に単独記名と願文を記入
- 200,000円 銅板瓦1枚に単独記名と祈願文を記入
竣工法要に特別ご招待



一万円以上(二口)の場合
一枚の銅板に
連名で記入致します



三万円以上(六口)の場合
一枚の銅板に
二名を記入致します
(ご家族の記名も可能です)



五万円以上(十口)の場合
一枚の銅板に
単独記名と祈願文を記入致します

「寄進」のお願い

大阪府下最大の木造建築物である大念佛寺の本堂は、将来の重要文化財指定に臨むとされる大阪市指定文化財です。
現在の本堂は先の大堂が明治三十一年に炎上して以降、地域と檀信徒からの悲願が実り建立されたものです。



当時の石づき工事の様子

昭和四年五月八日の基盤の石づき工事には、合計千五百人が訪れ、寄せられた数多の栗石を松の巨木でつき固め、基壇が造られました。地域の別なく、本宗、他宗の別なく、ただ「信仰の力」によって延べ五万人の石づきから一枚の基礎を造り、現在に至ってもなおその大磐石は大堂を支え続けています。
まさに、現在の御堂は「信仰の力」によって建立を果たしたとも言えるでしょう。しかし、その御堂も昭和十三年の再建以来幾星霜を重ね、近年の自然災害により損傷が散見されるようになりました。
そこで、来る令和十三年元祖良忍上人九百回御遠忌の記念事業として本堂の屋根改修を計画いたしました。「信仰の力」の基壇に建つ本堂の大屋根工事を成満達成するためには、やはり皆様方のお力添えが必要です。お寄せいただいた浄財は本堂大屋根改修に用いる銅板瓦に充当させて頂き、寄進者のお名前を銅板に記入し奉納させて頂きます。
昭和の初め、皆様のご先祖がつき固められた信仰を途絶えさせることなく、私たちが受け継いでいくため、「瓦寄進」にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和の本堂大改修 瓦勸進 申込書

<input type="checkbox"/>	5,000円		
	1口		
<input type="checkbox"/>	10,000円	①おひとりのお名前	
	2口		
<input type="checkbox"/>	30,000円	②2人及び家族のお名前	
	6口		
<input type="checkbox"/>	50,000円	③お名前と願文	
	10口		
<input type="checkbox"/>	200,000円	④上記③、及び 竣工法要に特別ご招待	
	40口		

施主名	
住所	〒
電話番号	— —